



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会

〒466-8655

名古屋市昭和区妙見町19-2

愛知保険医会館内

TEL ; (052) 832-1349

FAX ; (052) 834-3584

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会 第18回定期総会を開催

～子どもに関わる職種も多数参加、秋からの署名を広げることを確認～

◇日時／会場 2024年5月26日(日)／愛知県保険医協会伏見会議室 (Web併用)

◇参加 81人 (現地34人, Web参加47人)

◇記念講演

演題；「口からの子育て・親育ち～ボクってワタシっていいなあ、が生まれるところ～」

講師；岩倉 政城氏 (歯学博士、尚絅学院大学名誉教授、宮城県社会保障推進協議会会長)

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は、2024年5月26日(日)10時から、第18回定期総会を開催しました。

定期総会は愛知県保険医協会伏見会議室で開催、現地参加者は34人、オンライン参加者は47人でした。現地会場とオンラインの併用により、多くの人々が参加しました。

当日は、江原雅博会長の開会のあいさつに続き、北医療生協あじま診療所歯科の田中教夫さんが司会進行を担当しました。



報告をする江原会長

総会では、まず2023年度の活動報告と2024年度の活動方針が発表され、その後、東秀祐事務局長による決算報告と2024年度の予算案、2024年度の

役員・世話人体制の案の提示が行われました。これらの報告と提案は、参加者の拍手で承認、また、会場からは北生協歯科の久野よし乃所長から、2023年度の「保険でより良い歯科医療を求める」請願書名の経験についての報告がありました。

10時30分からは「口からの子育て・親育ち～ボクってワタシっていいなあ、が生まれるところ」のテーマで記念講演を行い、講師として尚絅学院大学名誉教授・同附属幼稚園園長の岩倉政城氏を招きました。

記念講演の内容は以下の5つのテーマに沿って進められました。

- 新型コロナ下の子どもたち、マスク着用で感染が増える？
- 子どもの発達に及ぼすマスクの影響
- 口の役割
- 歯科受診が出来ない子ども
- 「あぐら歯もみ」の奨め

岩倉氏は、参加者への問いかけや交流を交えながら、マスク着用が感染を広める可能性について説明しました。具体的には、保育園や幼稚園で園児にマスクを着用させると、落としたり拾ったり、他者のマスクを付けたり外したりすることで、却って感染を広めるリスクがあるとのこと。また、マスクが子どもの発達に及ぼす影響についても触れ、言葉の学習機会の減少や養育者の表情が読めなくなることが問題であるとも指摘しました。

特に口呼吸については、今回の診療報酬改定で厚労省が小児の口腔機能発達不全の改善を重要視していることから首肯できる内容で、換気の徹底や屋外に活動の場を移すなど、子どもとの交流はマスクを外せる環境で行うことが大切であるとのことでした。

さらに、今回の主要テーマである「口」については、人間の身体で最も敏感な器官が口であり、乳



講師の岩倉 政城氏

児が母乳を飲むことは最初の自己肯定感の発生であることを説明しました。

乳幼児期の指しゃぶりや噛みつきには理由があり、発達段階によって意味が異なることも具体的なエピソードとともに紹介されました。

印象に残ったのは、講演の中での「歯磨き指導について」。

障がい者などに対する歯磨き指導で、歯科医師や歯科衛生士が患者の口腔内を磨いて指導するだけでなく、患者に歯科医



会場の様子



参加者と対話する様子

師の口腔内を磨かせて、理解を深める方法が紹介されました。これにより、患者自身がどのように磨くべきかを具体的に学ぶ

ことができるという斬新なアプローチが示されました。

さらに、障がいのある患者さんにどのように関わるかについても触れ、参加者とともに体を動かしたり、一緒に寝転がるなどをして、相手の立場になって考え対応する大切さや秘訣も伝えられました。最後に、子どもから寝たきりの方まで「もっ

と」と喜ぶ「あぐら歯もみ」の紹介もあり、笑顔の絶えない楽しく学べる講習会となりました。

岩倉氏は、学生時代に流行したポリオのエピソードにも触れ、当時の先輩方が外国語の文献を読み解き、全国のお母さんたちに伝えた結果、旧ソ連から生ワクチンを輸入する国民的大運動となったことも話されました。氏

の出自や経験を交えた話は、参加者に深い感銘を与えました。

この総会を通じて、参加者は保険でより良い歯科医療を求める活動の重要性を再確認し、今後の活動に向けた新たな意欲を得ることができました。

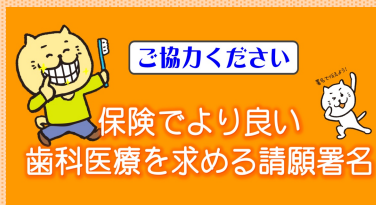


「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会 2024年度活動方針

- ① 11月に全国連絡会総会をキックオフ集会とする「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名に取り組む準備をすすめる。
- ② 学校歯科健診で咬合の不正を指摘された児童については、歯科矯正治療が保険適用となるよう運動をすすめる。
- ③ マイナンバーカードをもたない人たちを保険診療から遠ざけ、いのちと健康を脅かす「現行保険証の廃止」に反対する運動に協力する。
- ④ 災害時や、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対する口腔ケアの重要性も盛り込み、「保険でより良い歯科医療を求める意見書」採択を県内各自治体に求める運動に取り組む。
- ⑤ 歯科技工士の現状を改善する運動に取り組む。歯科技工士との対話を行い、連絡会の活動に参加してもらえるよう働きかける。歯科衛生士とも協力関係が作れるよう取り組む。
- ⑥ 災害時への備えとして、県内各自治体の備蓄品や各家庭での避難袋に、口腔ケア用品を加えるよう働きかけや呼びかけを行う。
- ⑦ 地方議員に、歯科医療の現状や重要性を訴える活動を行う。
- ⑧ 市民公開講座や出前学習会を開催する。
- ⑨ イレバデー（10/8）の「歯の何でも電話相談」に取り組む。イイハデー（11/8）の街頭宣伝を実施する。
- ⑩ 連絡会の活動趣旨を訴え、多方面の団体に呼びかけ参加団体を増やして組織の強化をめざす。
- ⑪ 事務局会議・世話人会の開催、連絡会ニュースの発行で、連絡会の活動を円滑に運営する。
- ⑫ 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会に参加し、全国の運動と協力・共同した活動に取り組む。

運動が実り、2024年6月改定で歯科矯正相談料が新設

6月の診療報酬改定では、「歯科矯正相談料」が新設されました。これは、学校歯科健診で咬合異常や顎変形症の疑いがあると判定されたお子さんについて、歯科治療の保険適用の可否を判断するために必要な検査・診断などを行った場合の評価です。相談までは保険ですが、その後の矯正治療が保険適用とならず自費となる場合が多いと考えられます。保険で相談できることは大きな一歩ですが、矯正治療も保険適用となるよう引き続きの運動が重要です。



**「保険でより良い歯科医療」を求める請願署名
今年は11月から取り組みます！**

「保険でより良い歯科医療」を求める請願署名は、今年11月から来年6月まで取り組みます！
ぜひ、今から取り組みの工夫を考えていただき、大きな運動となるようご協力をお願いします。

